

# 1 集団検診

## 1 調査目的

がん検診における発見がん患者の精密検査結果の詳細を把握することにより、検診の評価を行い、精度管理の維持・向上を図る。

## 2 調査対象

令和元年度の出張型住民検診における胃・肺・大腸・子宮頸・乳・前立腺の各がん検診受診者のうち、精密検査結果が「がん」または「がん疑い」と報告のあった者

## 3 調査内容

調査内容は、当事業団が実施した胃・肺・大腸・子宮頸・乳・前立腺の各がん検診における発見がん患者の精密検査結果および治療状況等とし、各がん取り扱い規約に基づいた内容について更なる詳細結果（報告）を求めた。

### 1] 取得方法

調査依頼先に対象者の発見がん追跡調査票を書留にて郵送し、回収した。

### 2] 調査依頼先

対象者の精密検査結果報告が提供された医療機関、または紹介先医療機関

### 3] 調査期間

初回調査：令和2年9月～10月

再調査：令和2年11月～12月

再調査は、以下の場合に実施

- (1) 初回調査の結果、転院が判明した者
- (2) 初回調査後、新たに精密検査結果が「がん」または「がん疑い」と報告のあった者

## 4 用語の解説

### 1] 精密検査結果内訳

- 1 精検受診：医療機関より精検結果の報告があった者。または、要精検者からの報告で精検日・精検法・精検結果・精検医療機関の4項目が揃っている者。
- 2 精検未把握：精検受診の有無が不明な者。または精検を受診していても精検結果が正確に分からない者。
- 3 精検未受診：精検を受診していても不適切な精検が行われた者。または、精検未受診が判明している者。

### 2] 発見がん追跡調査

- 1 追跡調査対象者数：精密検査結果でがん又はがん疑いと報告を受けた者（精検未把握者のうちがん又はがん疑いの者を含む）
- 2 詳細把握：発見がん追跡調査前に、がんと判明しかつその詳細結果を把握できた者。
- 3 がん以外：発見がん追跡調査前に、がん以外の疾患であることを把握できた者。
- 4 その他：初回調査及び再調査実施後、新たに医療機関よりがん又はがん疑いと精検結果の報告を受け、今回の調査期間中に調査を実施出来なかった者やがんと判明しているものの精検医療機関が不明な者等。

## 令和元年度出張型住民検診における発見がん追跡調査結果

令和3年1月31日現在

### 1 事業団における発見がん調査結果

	胃がん	肺がん		大腸がん	子宮頸がん			乳がん	前立腺がん
		単純X線	ヘリカルCT		細胞診のみ	HPV併用	ASC-US時 HPV追加		
受診者数	45,062	79,619	1,044	77,799	1,389	8,432	28,195	51,089	27,184
要精検者数	3,749	1,542	49	4,182	57	405	534	1,841	2,484
要精検率(%)	(8.3)	(1.9)	(4.7)	(5.4)	(4.1)	(4.8)	(1.9)	(3.6)	(9.1)
精検受診者数	3,113	1,359	42	2,953	45	345	417	1,651	1,835
精検受診率(%)	(83.0)	(88.1)	(85.7)	(70.6)	(78.9)	(85.2)	(78.1)	(89.7)	(73.9)
追跡調査回収率(%)	(95.6)	(97.7)		(92.7)	(100.0)	(90.0)	(100.0)	(94.3)	(95.9)
発見がん数	77	61	3	133	0	1	5	128	155
がん発見率(%)	(0.17)	(0.08)	(0.29)	(0.17)	(0.00)	(0.01)	(0.02)	(0.25)	(0.57)
早期がん割合*(%)	(70.3)	(35.0)	(66.7)	(58.3)	-	(100.0)	(25.0)	(85.2)	(84.5)
陽性反応適中度(%)	(2.1)	(3.9)	(6.1)	(3.2)	(0.0)	(0.2)	(0.9)	(7.0)	(6.2)

\*早期がん割合は、早期・進行のstageが不明であった者を除いて集計した。子宮頸がんについては、早期がん・進行がんという分類がないためIA期を早期がんに相当して集計した。

### 2 令和元年度 栃木県におけるがん検診実施状況（栃木県健康診査実施状況調査より）

	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん (指針方式)	乳がん (指針外方式)
受診者数	80,900	173,012	172,416	83,526	80,837	7,322
要精検率(%)	7.62	2.47	6.28	2.04	5.05	2.39
精検受診率*(%) (平成30年度確定)	85.3	86.3	67.9	80.6	92.0	81.5

### 3 令和元年度 日本対がん協会全国集計におけるがん検診実施状況（住民）

（日本対がん協会がん検診の実施状況より）

	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん	前立腺がん
受診者数	1,828,644	3,180,685	2,546,998	1,239,229	1,222,811	432,384
要精検率(%)	5.95	2.12	5.96	1.51	4.35	6.21
精検受診率(%)	79.3	77.6	67.0	80.9	90.3	63.4

### 4 がん検診に関する事業評価指標と許容値及び目標値

（がん検診の事業評価に関する委員会報告書より）

		胃がん	肺がん	大腸がん	子宮がん	乳がん
精検受診率	許容値	70.0%以上	70.0%以上	70.0%以上	70.0%以上	80.0%以上
	目標値	90.0%以上	90.0%以上	90.0%以上	90.0%以上	90.0%以上
要精検率	目標値	11.0%以下	3.0%以下	7.0%以下	1.4%以下*	11.0%以下*
がん発見率	許容値	0.11%以上	0.03%以上	0.13%以上	0.05%以上*	0.23%以上*
陽性反応適中度	許容値	1.0%以上	1.3%以上	1.9%以上	4.0%以上*	2.5%以上*

\*乳がん検診、子宮がん検診の要精検率、がん発見率、陽性反応適中度は参考値とする

## 令和元年度 出張型住民健診における発見がん調査結果

令和3年1月31日現在

### 【胃X線検査】

#### 1 検診実施状況

	受診者数	要精検者数(%)
男	19,821	2,148 (10.8)
女	25,241	1,601 (6.3)
総数	45,062	3,749 (8.3)

#### 2 精検結果内訳

	精 検 受 診															精 検	精 検	総 数	
	早 期 が が ん	進 行 が が ん	食 道 が ん	そ の 他 の 悪 性 腫 瘍	粘 膜 下 腫 瘍	胃 潰 瘍	胃 潰 瘍 痕	十 二 指 腸 潰 瘍	十 二 指 腸 潰 瘍 痕	胃 ポ リ プ	異 型 上 皮	萎 縮 性 胃 炎	そ の 他 の 胃 炎	そ の 他 の 疾 患	異 常 な し				
男	32	19	23	5	1	35	43	104	9	50	178	8	798	157	85	158	348	95	2,148
女	10	7	2	1	0	68	29	31	7	22	216	1	642	122	79	171	155	38	1,601
総数	42	26	25	6	1	103	72	135	16	72	394	9	1,440	279	164	329	503	133	3,749

#### 3 発見がん追跡調査結果

##### 1] 調査状況

	追跡調査 対象者数 (a)	調 査 除 外 内 訳			調 査 数 (a-(b+c+d))	回 収 数 (%)
		詳細把握 (b)	がん以外 (c)	そ の 他 (d)		
男	74	1	0	0	73	69 (94.5)
女	19	0	0	1	18	18 (100.0)
総数	93	1	0	1	91	87 (95.6)

##### 2] 調査結果内訳 (調査回収数及び調査前に発見がんの詳細を把握していた数を合わせた詳細)

	確 定 が ん			食 道 が ん	良 性 疾 患 (%)	異 常 な し (%)	未 確 定 (%)	追 跡 不 能 (%)
	早期 (%)	進行 (%)	不明 (%)					
男	42 (56.8)	16 (21.6)	3 (4.1)	2 (2.7)	4 (5.4)	0 (0.0)	3 (4.1)	4 (5.4)
女	10 (55.6)	6 (33.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (11.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
総数	52 (56.5)	22 (23.9)	3 (3.3)	2 (2.2)	6 (6.5)	0 (0.0)	3 (3.3)	4 (4.3)

### 3] 発見がん内訳

	受診者数	要精検者数(%)	精検受診者数(%)	発見がん数(%)
39歳以下	210	5 (2.4)	4 (80.0)	0 (0.00)
40～44歳	1,150	53 (4.6)	33 (62.3)	1 (0.09)
45～49歳	1,194	76 (6.4)	51 (67.1)	0 (0.00)
50～54歳	1,105	76 (6.9)	45 (59.2)	1 (0.09)
55～59歳	1,160	97 (8.4)	68 (70.1)	3 (0.26)
男 60～64歳	2,322	276 (11.9)	214 (77.5)	3 (0.13)
65～69歳	4,866	583 (12.0)	464 (79.6)	16 (0.33)
70～74歳	4,717	596 (12.6)	490 (82.2)	26 (0.55)
75～79歳	2,766	350 (12.7)	308 (88.0)	11 (0.40)
80歳以上	331	36 (10.9)	28 (77.8)	0 (0.00)
計	19,821	2,148 (10.8)	1,705 (79.4)	61 (0.31)
39歳以下	399	10 (2.5)	8 (80.0)	1 (0.25)
40～44歳	2,377	75 (3.2)	58 (77.3)	0 (0.00)
45～49歳	2,452	94 (3.8)	78 (83.0)	0 (0.00)
50～54歳	2,170	100 (4.6)	83 (83.0)	0 (0.00)
55～59歳	2,378	118 (5.0)	105 (89.0)	0 (0.00)
女 60～64歳	3,624	250 (6.9)	223 (89.2)	3 (0.08)
65～69歳	5,253	398 (7.6)	353 (88.7)	4 (0.08)
70～74歳	4,347	363 (8.4)	323 (89.0)	5 (0.12)
75～79歳	2,094	182 (8.7)	166 (91.2)	3 (0.14)
80歳以上	147	11 (7.5)	11(100.0)	0 (0.00)
計	25,241	1,601 (6.3)	1,408 (87.9)	16 (0.06)
総 数	45,062	3,749 (8.3)	3,113 (83.0)	77 (0.17)

### 4] 早期・進行別発見数

深達度	早 期		進 行				不 明
	M	SM	MP	SS	SE	SI	
男	32	10	4	5	7	0	3
女	4	6	2	3	1	0	0
総数	36	16	6	8	8	0	3
	52 (70.3)		22 (29.7)				

※以下の表 5]～10] は深達度不明の3名を除き集計した

### 5] 肉眼的分類別発見数

肉眼的分類	発見数
I	2
II a	13
0型 II a+ II c	7
III b	1
II c	28
II c+ III	1
1型	1
2型	9
3型	12
総 数	74

### 6] 進行度分類(病理)別発見数

進行度	発見数
I A	47
I B	6
II A	5
II B	6
III A	3
III B	2
III C	1
IV	2
不明	2
総数	74

7] 部位（壁在）分類別発見数

	早期	進行	総数
前壁	7	1	8
後壁	16	6	22
大彎	7	7	14
小彎	22	8	30
全周	0	0	0
総 数	52	22	74

8] 部位（UML）分類別発見数

	早期	進行	総数
U	6	4	10
UM	1	2	3
MU	2	1	3
M	18	2	20
ML	6	2	8
LM	2	2	4
L	17	9	26
総 数	52	22	74

9] 組織型分類別発見数

組織型	発見数
pap	0
tub1	35
tub2	25
por1	1
por2	3
por (1,2不明)	1
sig	6
muc	2
特殊型	0
未記入	1
総 数	74

10] 治療分類別発見数

	発見数
外科的手術	12
腹腔鏡下手術	27
内視鏡的手術	33
化学療法	2
総 数	74

11] 初回・非初回別発見数

	受診者数	要精検者数	精検受診者数(%)	発見数(%)	発見がん内訳			
					早期(%)	進行(%)	不明	
初 回	男	3,481	485	378 (77.9)	18 (0.52)	10 (58.8)	7 (41.2)	1
	女	4,892	403	333 (82.6)	6 (0.12)	4 (66.7)	2 (33.3)	0
	計	8,373	888	711 (80.1)	24 (0.29)	14 (60.9)	9 (39.1)	1
非初回	男	16,340	1,663	1,327 (79.8)	43 (0.26)	32 (78.0)	9 (22.0)	2
	女	20,349	1,198	1,075 (89.7)	10 (0.05)	6 (60.0)	4 (40.0)	0
	計	36,689	2,861	2,402 (84.0)	53 (0.14)	38 (74.5)	13 (25.5)	2
総 数	45,062	3,749	3,113 (83.0)	77 (0.17)	52 (70.3)	22 (29.7)	3	

※早期・進行割合は深達度不明の者を除いて集計

※令和元年度地域保健・健康増進事業報告より、

初 回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回も胃がん検診を受診していない者

非初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回以上胃がん検診を受診している者

## 【胃がんリスク層別化検診】

### 1 検診実施状況

#### 1] 検診実施状況

	受診者数	要二次検査者数 (%)
男	1,340	298 (22.2)
女	2,818	541 (19.2)
総 数	4,158	839 (20.2)

#### 2] リスク層別内訳

年 齢	受診者数	A群 (%)	B群 (%)	C群 (%)	D群 (%)	B+C+D群 (%)
39歳以下	332	289 (87.1)	28 (8.4)	10 (3.0)	5 (1.5)	43 (13.0)
40～44歳	606	540 (89.1)	45 (7.4)	18 (3.0)	3 (0.5)	66 (10.9)
45～49歳	475	419 (88.2)	37 (7.8)	12 (2.5)	7 (1.5)	56 (11.8)
50～54歳	405	349 (86.2)	38 (9.4)	17 (4.2)	1 (0.2)	56 (13.8)
55～59歳	390	308 (79.0)	37 (9.5)	38 (9.7)	7 (1.8)	82 (21.0)
60～64歳	518	403 (77.8)	60 (11.6)	44 (8.5)	11 (2.1)	115 (22.2)
65～69歳	727	509 (70.0)	83 (11.4)	102 (14.0)	33 (4.5)	218 (30.0)
70～74歳	688	486 (70.6)	73 (10.6)	87 (12.7)	42 (6.1)	202 (29.4)
75～79歳	17	16 (94.1)	1 (5.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (5.9)
総 数	4,158	3,319 (79.8)	402 (9.7)	328 (7.9)	109 (2.6)	839 (20.2)

## 2 二次検査結果内訳（発見胃がん追跡調査前の二次検査結果）

	二 次 検 査 受 診															二 次 検 査 未 把 握	二 次 検 査 未 受 診	総 数	
	早 進 が 食	期 行 ん 道	が が 疑 が	ん ん い ん	そ の 他 の 胃 悪 性 腫 瘍	粘 膜 下 腫 瘍	胃 潰 瘍	胃 潰 瘍 痕	十 二 指 腸 潰 瘍 ・ 癒 痕	胃 ポ リ プ	異 型 上 皮	萎 縮 性 胃 炎	そ の 他 の 胃 炎	逆 流 性 食 道 炎	そ の 他 の 疾 患				異 常 な し
男	5	1	0	0	0	2	0	3	10	9	1	137	6	2	13	19	67	23	298
女	2	1	1	0	0	1	5	6	19	17	0	287	17	1	32	26	96	30	541
総数	7	2	1	0	0	3	5	9	29	26	1	424	23	3	45	45	163	53	839

### 3 発見がん追跡調査結果

#### 1] 調査状況

	追跡調査 対象者数 (a)	調査除外内訳			調査数 (a-(b+c+d))	回収数 (%)
		詳細把握 (b)	がん以外 (c)	その他 (d)		
男	9	0	0	0	9	6 (66.7)
女	4	0	0	0	4	4 (100.0)
総数	13	0	0	0	13	10 (76.9)

#### 2] 調査結果内訳

	発見がん			良性腫瘍 (%)	未確定 (%)	追跡不能 (%)
	早期 (%)	進行 (%)	不明 (%)			
男	6 (66.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (33.3)
女	2 (50.0)	1 (25.0)	0 (0.0)	1 (25.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
総数	8 (61.5)	1 (7.7)	0 (0.0)	1 (7.7)	0 (0.0)	3 (23.1)

#### 3] 発見がん内訳

	受診者数	要二次検査者数 (%)	二次検査受診者数 (%)	発見がん数 (%)	
男	39歳以下	83	16 (19.3)	6 (37.5)	0 (0.00)
	40～44歳	162	20 (12.3)	11 (55.0)	0 (0.00)
	45～49歳	143	15 (10.5)	11 (73.3)	0 (0.00)
	50～54歳	94	15 (16.0)	5 (33.3)	0 (0.00)
	55～59歳	88	22 (25.0)	15 (68.2)	0 (0.00)
	60～64歳	173	42 (24.3)	32 (76.2)	0 (0.00)
	65～69歳	286	85 (29.7)	69 (81.2)	3 (1.05)
	70～74歳	300	82 (27.3)	58 (70.7)	3 (1.00)
	75～79歳	11	1 (9.1)	1 (100.0)	0 (0.00)
	計	1,340	298 (22.2)	208 (69.8)	6 (0.45)
女	39歳以下	249	27 (10.8)	17 (63.0)	0 (0.00)
	40～44歳	444	46 (10.4)	33 (71.7)	0 (0.00)
	45～49歳	332	41 (12.3)	30 (73.2)	0 (0.00)
	50～54歳	311	41 (13.2)	25 (61.0)	0 (0.00)
	55～59歳	302	60 (19.9)	48 (80.0)	0 (0.00)
	60～64歳	345	73 (21.2)	58 (79.5)	0 (0.00)
	65～69歳	441	133 (30.2)	112 (84.2)	1 (0.23)
	70～74歳	388	120 (30.9)	92 (76.7)	2 (0.52)
75～79歳	6	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.00)	
計	2,818	541 (19.2)	415 (76.7)	3 (0.11)	
総数	4,158	839 (20.2)	623 (74.3)	9 (0.22)	

#### 4] リスク層別発見がん

	B群	C群	D群
二次検査受診者数	279	257	87
発見がん数	男	4	2
	女	3	0
	計	7	2
陽性反応適中度 (%)	(0.0)	(2.7)	(2.3)

5] 早期・進行別発見数

深達度	早期		進行	不明
	M	SM	SS	
男	4	2	0	0
女	2	0	1	0
総数	6	2	1	0
	8 (88.9)		1 (11.1)	

6] 肉眼的分類別発見数

肉眼的分類	発見数
0型	2
II a	1
II a + II c	5
II c	1
2型	1
総数	9

7] 進行度分類(病理)別発見数

進行度	発見数
I A	7
I B	1
II A	1
総数	9

8] 部位(壁在)別発見数

	早期	進行	総数
前壁	0	0	0
後壁	1	0	1
大彎	3	0	3
小彎	4	1	5
総数	8	1	9

9] 部位(UML)別発見数

	早期	進行	総数
ML	1	0	1
LM	2	0	2
L	5	1	6
総数	8	1	9

10] 組織型別発見数

組織型	B群	C群	D群	総数
tub1	0	5	2	7
tub2	0	2	0	2
総数	0	7	2	9

11] 治療分類別発見数

	発見数
腹腔鏡下手術	3
内視鏡的治療	6
総数	9



#### 4 まとめ

令和元年度胃X線検査における要精検率8.3%、胃がん発見率は0.17%、陽性反応適中度2.1%であり、がん検診事業評価指標で示している許容値を満たしている。精検受診率は83.0%で昨年同様、目標値の90.0%は満たせていない。また、初回受診と非初回受診のがん発見数を比較すると、早期がんの割合は初回受診60.9%、非初回受診74.5%であり、経年受診で早期がん割合が高かった。これらのことから、精検受診率を高めるための働きかけや、経年受診の必要性について周知していく必要があると考えられる。

令和元年度の胃がんリスク層別化検診は7市3町において実施され、受診者数は4,158人（男性1,340人、女性2,818人）であり、二次検査の対象者数は839人で、二次検査未把握と二次検査未受診を除く二次検査受診者数は623人で、二次検査受診率は74.3%であった。また、胃がん発見率は0.22%で、男性6人（0.45%）、女性3人（0.11%）、陽性反応適中度1.1%であり、例年同様に男性のがん発見率が高かった。

胃がんリスク層別化検診でB・C・D群と判定された者は胃がんにかかりやすい状態にあるため、血液検査だけで終わらせず確実に専門の医療機関で二次検査を受診することが重要であるとする。

付表1 がん検診事業評価指標値との比較

	受診者数	要精検者数(%)	精検受診率(%)	確定がん数(%)	陽性反応 適中度(%)
令和元年度	45,062	3,749 (8.3)	(83.0)	77 (0.17)	(2.1)
平成30年度	47,361	3,882 (8.2)	(84.0)	52 (0.11)	(1.3)
平成29年度	49,075	3,867 (7.9)	(80.0)	54 (0.11)	(1.3)
がん検診 事業評価 指標値	許容値	11.0以下	70.0以上	0.11以上	1.0以上
	目標値		90.0以上		

付表2 胃がんリスク層別化検診における発見がん調査結果

	受診者数	要二次検査者数(%)	二次検査 受診率(%)	発見がん数(%)	陽性反応 適中度(%)
令和元年度	4,158	839 (20.2)	(74.3)	9 (0.22)	(1.1)
平成30年度	5,327	1,363 (25.6)	(75.9)	12 (0.23)	(0.9)
平成29年度	6,193	1,670 (27.0)	(75.4)	10 (0.16)	(0.6)

## 令和元年度 出張型住民健診における発見肺がん追跡調査結果

令和3年1月31日現在

### 1 検診実施状況

#### 1] 肺がん検診

		受診者数	要 精 検 者 数*	
			D判定	E判定** (%)
男	胸部X線	30,956	549	761 (2.4)
	胸部X線+喀痰細胞診	1,031	31	42 (4.0)
	計	31,886	580	803 (2.5)
女	胸部X線	47,444	571	737 (1.6)
	胸部X線+喀痰細胞診	188	2	2 (1.1)
	計	47,632	573	739 (1.6)
総 数	胸部X線	78,400	1,120	1,498 (1.9)
	胸部X線+喀痰細胞診	1,219	33	44 (3.6)
	総 数	79,619	1,153	1,542 (1.9)

\* 要精検者数 D判定は「肺癌以外の疾患を疑う」、E判定は「肺癌の疑い」

\*\*E判定には喀痰細胞診でのみ要精検を含む。

### 2 精検結果内訳 (以下、肺がん検診要精検者E判定のみ)

	精 検 受 診												精 検	精 検	総 数	
	原 発 性 肺 がん 疑 い	肺 が ん 疑 い	転 移 性 肺 腫 瘍	悪 性 腫 瘍 以 外 の 肺 腫 瘍	そ の 他 の 悪 性 腫 瘍	縦 隔 腫 瘍	活 動 性 肺 結 核 疑 い	不 活 動 性 肺 結 核 疑 い	肺 結 核 治 癒	そ の 他 の 呼 吸 器 疾 患	循 環 器 疾 患	そ の 他 の 異 常				異 常 認 め ず
男	17	66	2	6	1	3	1	9	7	233	5	31	309	96	17	803
女	7	44	0	3	0	3	0	6	5	233	8	34	326	61	9	739
総数	24	110	2	9	1	6	1	15	12	466	13	65	635	157	26	1,542

### 3 発見がん追跡調査結果

#### 1] 調査状況

	追跡調査 対象者数 (a)	調査除外内訳			追跡 調査数 (a-(b+c+d))	回収数 (%)
		詳細把握 (b)	がん以外 (c)	その他 (d)		
男	83	0	2	0	81	78 (96.3)
女	51	0	0	0	51	51 (100.0)
総数	134	0	2	0	132	129 (97.7)

#### 2] 調査結果内訳（調査数及び調査前に発見がんの詳細を把握していた数を併せた詳細）

	発見がん			その他 (%)	異常 なし (%)	経過 観察 (%)	未確定 (%)	追跡 不能 (%)
	I 期 (%)	I 期外 (%)	不明 (%)					
男	14 (17.3)	25 (30.9)	1 (1.2)	27 (33.3)	1 (1.2)	1 (1.2)	9 (11.1)	3 (3.7)
女	13 (25.5)	8 (15.7)	0 (0.0)	28 (54.9)	0 (0.0)	2 (3.9)	0 (0.0)	0 (0.0)
総数	27 (20.5)	33 (25.0)	1 (0.8)	55 (41.7)	1 (0.8)	3 (2.3)	9 (6.8)	3 (2.3)

#### 3] 発見がん内訳

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診数 (%)	確定がん数 (%)	
39歳以下	387	2 (0.5)	2 (100.0)	0 (0.00)	
40～44歳	1,352	13 (1.0)	12 (92.3)	0 (0.00)	
45～49歳	1,409	18 (1.3)	15 (83.3)	0 (0.00)	
50～54歳	1,273	16 (1.3)	12 (75.0)	0 (0.00)	
55～59歳	1,423	26 (1.8)	19 (73.1)	0 (0.00)	
男	60～64歳	3,214	75 (2.3)	60 (80.0)	2 (0.06)
65～69歳	7,364	165 (2.2)	142 (86.1)	9 (0.12)	
70～74歳	7,635	230 (3.0)	193 (83.9)	16 (0.21)	
75～79歳	5,028	154 (3.1)	137 (89.0)	10 (0.20)	
80歳以上	2,902	104 (3.6)	98 (94.2)	3 (0.10)	
計	31,987	803 (2.5)	690 (85.9)	40 (0.13)	
39歳以下	626	2 (0.3)	1 (50.0)	0 (0.00)	
40～44歳	3,363	25 (0.7)	22 (88.0)	1 (0.03)	
45～49歳	3,265	15 (0.5)	14 (93.3)	0 (0.00)	
50～54歳	2,977	26 (0.9)	23 (88.5)	0 (0.00)	
55～59歳	3,623	45 (1.2)	39 (86.7)	2 (0.06)	
女	60～64歳	6,269	89 (1.4)	81 (91.0)	3 (0.05)
65～69歳	10,287	162 (1.6)	146 (90.1)	4 (0.04)	
70～74歳	9,268	154 (1.7)	141 (91.6)	5 (0.05)	
75～79歳	5,273	143 (2.7)	133 (93.0)	3 (0.06)	
80歳以上	2,681	78 (2.9)	69 (88.5)	3 (0.11)	
計	47,632	739 (1.6)	669 (90.5)	21 (0.04)	
総数	79,619	1,542 (1.9)	1,359 (88.1)	61 (0.08)	

4] 検査方法別 発見がん数と発見率

	実施人数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	発見がん数 (%)
胸部 X 線	79,619	1,542 (1.9)	1,359 (88.1)	61 (0.08)
へリカルCT	1,044	49 (4.7)	42 (85.7)	3 (0.29)
総 数	80,663	1,591 (2.0)	1,401 (88.1)	64 (0.08)

5] 検診実施状況 (胸部CT検診)

	受診者数	要精検者数		精検受診者数 (%)
		D判定	E判定 (%)	
へリカルCT	1,028	80	47 (4.6)	40 (85.1)
へリカルCT + 喀痰細胞診	16	1	2 (12.5)	2 (100.0)

6] 発見がん内訳 (胸部CT検診)

年齢・性別	前年度受診	組織分類	臨床病期分類	治療分類
70代・男性	有	腺癌	III A	化学療法
60代・女性	無	腺癌	0	胸腔鏡下手術
60代・男性	無	扁平上皮癌	I A2	胸腔鏡下手術

7] 発見がん内訳 (胸部CT検診以外)

(1) 組織分類別発見数

	男	女	総数
腺 癌	21	20	41
扁 平 上 皮 癌	12	1	13
大 細 胞 癌	1	0	1
小 細 胞 癌	4	0	4
そ の 他	2	0	2
不 明	0	0	0
総 数	40	21	61

(2) 臨床病期分類別発見数

	男	女	総数
0期	0	0	0
I A1期	3	4	7
I A2期	4	4	8
I A3期	4	2	6
I B期	3	3	6
II A期	0	1	1
II B期	8	2	10
III A期	6	3	9
III B 期	2	1	3
III C期	0	0	0
IV期	0	0	0
IV A期	7	1	8
IV B期	2	0	2
不明	1	0	1
総 数	40	21	61

(3) 治療分類別発見数

	男	女	総数
手術	6	3	9
手術・化学療法	1	0	1
胸腔鏡下手術	17	15	32
胸腔鏡下手術、手術	0	1	1
胸腔鏡下手術・化学療法・放射線療法	1	0	1
化学療法	9	2	11
放射線療法	1	0	1
化学療法・放射線療法	3	0	3
治療拒否	0	0	0
不明	2	0	2
総数	40	21	61

4 初回、非初回別 追跡調査結果（胸部CT検診以外）

令和元年度地域保健・健康増進事業報告より

初回：前年度受診していない者

非初回：前年度も検診を受診している者

（肺癌取扱い規約では、前回未受診・前回受診）

1] 初回、非初回別 発見率及びI期率

	受診者数	要精検者数	精検受診者数(%)	発見数(%)	発見がん内訳			
					I期(%)	I期外(%)	不明	
初回	男	7,953	298	235 (78.9)	7 (0.09)	1 (14.3)	6 (85.7)	0
	女	12,736	283	246 (86.9)	8 (0.06)	4 (50.0)	4 (50.0)	0
	計	20,689	581	481 (82.8)	15 (0.07)	5 (33.3)	10 (66.7)	0
非初回	男	24,034	505	455 (90.1)	33 (0.14)	13 (40.6)	19 (59.4)	1
	女	34,896	456	423 (92.8)	13 (0.04)	9 (69.2)	4 (30.8)	0
	計	58,930	961	878 (91.4)	46 (0.08)	22 (48.9)	23 (51.1)	1
総数	79,619	1,542	1,359 (88.1)	61 (0.08)	27 (45.0)	33 (55.0)	1	

\* I期・I期外割合は臨床病期分類不明の者を除いて集計

2] 初回、非初回別 臨床病期分類別発見数

	初回	非初回
0期	0	0
I A1期	1	6
I A2期	1	7
I A3期	2	4
I B期	1	5
II A期	0	1
II B期	2	8
III A期	3	6
III B 期	2	1
III C期	0	0
IV期	0	0
IV A期	2	6
IV B期	1	1
不 明	0	1
総 数	15	46

5 喫煙及び組織型

1] 喫煙指数 (本数/日×年数)

喫煙指数	男	女	総数
0～	6	18	24
200～	2	2	4
400～	3	1	4
600～	9	0	9
800～	9	0	9
1000～	9	0	9
1200～	0	0	0
1400～	2	0	2
総 数	40	21	61

2] 喫煙指数及び組織型別発見数

喫煙指数	組 織 型	男	女	総数
600未満	腺 癌	7	20	27
	扁平上皮癌	2	1	3
	そ の 他	2	0	2
600以上	腺 癌	14	0	14
	扁平上皮癌	10	0	10
	大細胞癌	1	0	1
	小細胞癌	4	0	4
総 数		40	21	61

### 3] 喫煙習慣及び組織型別発見数

喫煙習慣	組織型	男	女	総数
吸わない	腺癌	5	18	23
	扁平上皮癌	0	0	0
	不明	0	0	0
止めた	腺癌	11	0	11
	扁平上皮癌	5	0	5
	小細胞癌	2	0	2
	大細胞癌	0	0	0
	その他	2	0	2
	不明	0	0	0
吸う	腺癌	5	2	7
	扁平上皮癌	7	1	8
	小細胞癌	2	0	2
	大細胞癌	1	0	1
	その他	0	0	0
	不明	0	0	0
総数		40	21	61

## 6 まとめ

肺癌取扱い規約の肺がん検診の手引きより「肺がん検診における胸部X線検査の判定基準と指導区分」の中で「肺がん検診における肺癌確診患者数（検診発見肺癌）とは、E1およびE2判定となった要精検者の中から原発性肺癌と確診された患者数を意味する」、また「D判定者の中から肺癌が発見されたとしても、検診発見肺癌とは認めない」との記述があり、これに基づいて追跡調査を行っている。

令和元年度、肺がん検診受診者は79,619人で、確定がんは61人であり、がん発見率は昨年度の0.06%に対し今年度は0.08%であった。昨年度は回収率が低かったため発見率が下がったと考えられた。また、肺がん検診受診者数は前年度の79,300人とほぼ同水準の79,619人であった。

初回受診者と非初回受診者を比較したところ、がん発見率は、初回受診者の0.07%に対し非初回受診者は0.08%であった。

I期肺がん割合は、初回受診者では33.3%だったが、非初回受診者では48.9%で、非初回受診者の方がI期肺がんの割合が高かった。

肺がん検診の精検受診率については、胸部X線検診（喀痰細胞診併用を含む）では、前年度の88.5%に対し今年度は88.1%だった。

当施設における肺がん検診の成績と、がん検診事業評価指標の許容値を比較すると、全て満たしていた。今後は更なる精度管理の向上をはかるために、精検受診率の目標値である90%以上を目指して各関係機関と連携していきたい。

付表 がん検診事業評価指標値との比較（対象は胸部CT検診を除く肺がん検診とする）

	受診者数	要精検者数 (%)	精検 受診率 (%)	確定 がん数	がん 発見率 (%)	陽性反応 適中度 (%)
事業団 令和元年度	79,619	1,542 (1.9)	(88.1)	61	(0.08)	(3.9)
事業団 平成30年度	79,300	1,130 (1.4)	(88.5)	50	(0.06)	(4.4)
事業団 平成29年度	79,268	1,167 (1.5)	(84.1)	61	(0.08)	(5.2)
がん検診 事業評価 指標値	許容値	3.0以下	70.0以上		0.03以上	1.3以上
	目標値		90.0以上			



## 令和元年度 出張型住民健診における発見大腸がん追跡調査結果

令和3年1月31日現在

### 1 検診実施状況

	受診者数	要精検者数(%)
男	30,757	2,059 (6.7)
女	47,042	2,123 (4.5)
総数	77,799	4,182 (5.4)

### 2 精検結果内訳（発見がん追跡調査前の精検結果）

	精 検 受 診											精 検	精 検	総 数
	早 期 がん	進 行 がん	が ん 疑 い	ポ リ プ	ポ リ ポ ー シ ス	ク ロ ー ン 病	潰 瘍 性 大 腸 炎	憩 室	痔 疾 患	そ の 他 の 疾 患	異 常 認 め ず			
男	45	29	20	797	4	0	3	126	100	29	216	515	175	2,059
女	34	23	13	661	1	0	10	166	185	29	462	375	164	2,123
総数	79	52	33	1,458	5	0	13	292	285	58	678	890	339	4,182

### 3 発見がん追跡調査結果

#### 1] 調査状況

	追跡調査 対象者数 (a)	調査除外内訳			調査数 (a-(b+c+d))	回収数 (%)
		詳細把握 (b)	がん以外 (c)	その他 (d)		
男	99	1	0	1	97	92 (94.8)
女	70	1	0	2	67	60 (89.6)
総数	169	2	0	3	164	152 (92.7)

#### 2] 調査結果内訳（調査回収数及び調査前に発見がんの詳細を把握していた数を合わせた詳細）

	発 見 が ん			その他の 疾患 (%)	異常なし (%)	未確定 (%)	追跡不能 (%)
	早期 (%)	進行 (%)	不明 (%)				
男	46 (46.9)	31 (31.6)	0 (0.0)	12 (12.2)	0 (0.0)	4 (4.1)	5 (5.1)
女	31 (45.6)	24 (35.3)	1 (1.5)	4 (5.9)	0 (0.0)	1 (1.5)	7 (10.3)
総数	77 (46.4)	55 (33.1)	1 (0.6)	16 (9.6)	0 (0.0)	5 (3.0)	12 (7.2)

3] 発見がん内訳

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診数 (%)	発見がん数 (%)	
男	39歳以下	261	12 (4.6)	4 (33.3)	0 (0.00)
	40～44歳	1,387	50 (3.6)	28 (56.0)	3 (0.22)
	45～49歳	1,460	57 (3.9)	29 (50.9)	1 (0.07)
	50～54歳	1,346	63 (4.7)	35 (55.6)	2 (0.15)
	55～59歳	1,484	80 (5.4)	51 (63.8)	1 (0.07)
	60～64歳	3,120	167 (5.4)	106 (63.5)	4 (0.13)
	65～69歳	7,037	449 (6.4)	292 (65.0)	22 (0.31)
	70～74歳	7,092	526 (7.4)	353 (67.1)	15 (0.21)
	75～79歳	4,784	355 (7.4)	262 (73.8)	15 (0.31)
	80歳以上	2,786	300 (10.8)	209 (69.7)	14 (0.50)
	計	30,757	2,059 (6.7)	1,369 (66.5)	77 (0.25)
女	39歳以下	588	26 (4.4)	13 (50.0)	1 (0.17)
	40～44歳	3,336	142 (4.3)	86 (60.6)	0 (0.00)
	45～49歳	3,493	110 (3.1)	74 (67.3)	1 (0.03)
	50～54歳	3,300	115 (3.5)	76 (66.1)	1 (0.03)
	55～59歳	3,956	174 (4.4)	139 (79.9)	1 (0.03)
	60～64歳	6,316	248 (3.9)	193 (77.8)	11 (0.17)
	65～69歳	9,894	416 (4.2)	324 (77.9)	16 (0.16)
	70～74歳	8,594	418 (4.9)	330 (78.9)	13 (0.15)
	75～79歳	5,005	273 (5.5)	213 (78.0)	9 (0.18)
	80歳以上	2,560	201 (7.9)	136 (67.7)	3 (0.12)
計	47,042	2,123 (4.5)	1,584 (74.6)	56 (0.12)	
総数	77,799	4,182 (5.4)	2,953 (70.6)	133 (0.17)	

4] 占居部位別発見数

	男	女	総数
盲腸	5	7	12
上行結腸	10	17	27
横行結腸	5	3	8
下行結腸	3	1	4
S状結腸	21	10	31
直腸S状部	12	4	16
直腸	21	12	33
不明	0	2	2
総数	77	56	133

5] 組織分類別発見数

	男	女	総数
乳頭管癌	1	3	4
高分化	49	29	78
管状腺癌	25	20	45
中分化	1	1	2
低分化	0	1	1
粘液癌	1	2	3
不明	1	2	3
総数	77	56	133

6] 組織学的深達度別発見数

	男	女	総数
Tis (M)	28	22	50
T1a (SM)	7	2	9
T1b (SM)	11	7	18
T2 (MP)	7	11	18
T3 (SS)	21	8	29
T4a (SE)	3	5	8
不明	0	1	1
総数	77	56	133

7] 治療方法別発見数

	早期	進行	不明	総数
ポリペクトミー	4	0	0	4
内視鏡的粘膜切除	52	0	1	53
腹腔鏡下手術	14	32	0	46
外科手術	6	21	0	27
その他	1	2	0	3
総数	77	55	1	133

8] Stage分類別発見数

	男	女	総数
0	28	22	50
I	21	15	36
II a	11	5	16
II b	2	1	3
III a	3	5	8
III b	8	5	13
III c	0	2	2
IV	4	0	4
不明	0	1	1
総数	77	56	133

9] Dukes分類別発見数

	男	女	総数
A	49	37	86
B	13	6	19
C	11	12	23
D	4	0	4
不明	0	1	1
総数	77	56	133

10] 初回、非初回別早期割合

	受診者数	要精検者数	精検受診者数(%)	発見数(%)	発見がん内訳			
					早期(%)	進行(%)	不明	
初回	男	4,516	372	226 (60.8)	22 (0.49)	14 (63.6)	8 (36.4)	0
	女	6,991	368	254 (69.0)	18 (0.26)	13 (72.2)	5 (27.8)	0
	計	11,507	740	480 (64.9)	40 (0.35)	27 (67.5)	13 (32.5)	0
非初回	男	26,241	1,687	1,143 (67.8)	55 (0.21)	32 (58.2)	23 (41.8)	0
	女	40,051	1,755	1,330 (75.8)	38 (0.09)	18 (48.6)	19 (51.4)	1
	計	66,292	3,442	2,473 (71.8)	93 (0.14)	50 (54.3)	42 (45.7)	1
総数	77,799	4,182	2,953 (70.6)	133 (0.17)	77 (58.3)	55 (41.7)	1	

※早期・進行割合は深達度不明の者を除いて集計

※令和元年度地域保健・健康増進事業報告より、

初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回も大腸がん検診を受診していない者

非初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回以上大腸がん検診を受診している者

#### 4 まとめ

令和元年度の発見大腸がん追跡調査の結果、男性77人、女性56人のがんが発見された。がん発見率は男性0.25%、女性0.12%であり、男性のがん発見率が有意に高かった (p<0.05)。また、男女とも加齢とともにがん発見率は高くなる傾向を示した。

発見大腸がんの占居部位は直腸が最も多く (24.8%)、次いでS状結腸 (23.3%)、上行結腸 (20.3%) の順であり、一番多く発見された直腸は、S状部も含めると36.8%の割合であった。

組織型は管状腺癌が最も多く、高分化型 (58.6%)、中分化型 (33.8%)、低分化型 (1.5%) と合わせると93.9%を占めていた。また、粘液癌が1人発見された。

発見大腸がんの組織深達度では、133人中77人 (57.9%) が早期がんとなるTis (M)、T1a,T1b (SM) であり、T2 (MP) 以上の進行がんは55人 (41.3%)、不明が1人 (0.8%) であった。

発見大腸がんの治療方法は、早期がんに対して内視鏡下で行われるポリペクトミー、ESDを含む内視鏡的粘膜切除が133人中57人 (42.9%) に実施された。腹腔鏡下手術は133人中46人 (34.6%) に実施されており、進行がんに対しても55人中32人 (58.2%) と、手術術式の中で広く用いられる方法となった。

大腸がん検診の受診履歴別による早期がん発見率は、初回受診者が67.5%、非初回受診者が54.3%と、初回受診者の早期がん発見率が高かった。一方、進行がんにおける発見割合も、初回受診者が32.5%、非初回受診者が45.7%であり、初回受診者が高い傾向を示した。全体のがん発見率は初回受診者 (0.35%)、非初回受診者 (0.14%) と、初回受診者が高かったことから、定期的は大腸がん検診を受診している非初回受診者では、大腸がんの発見割合が低いことが窺えた。

「がん検診事業の評価に関する委員会」で示されたプロセス指標の許容値との比較を下記に示す。精度管理の指標となる要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度の全てにおいて許容値を満たしていた。

付表 がん検診事業評価指標値との比較

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診率 (%)	発見がん数 (%)	陽性反応適中度 (%)
事業団 令和元年度	77,799	4,182 (5.4)	(70.6)	133 (0.17)	(3.2)
事業団 平成30年度	77,750	3,895 (5.0)	(71.1)	118 (0.15)	(3.0)
事業団 平成29年度	77,485	4,049 (5.2)	(68.8)	113 (0.15)	(2.8)
がん検診 事業評価指標	許容値	7.0%以下	70.0%以上	0.13%以上	1.9%以上
	目標値		90.0%以上		

大腸がん検診で発見されるがんは早期がんが多く、内視鏡下での粘膜切除にて治療が済む割合が高いことから、検診の受診率向上と継続受診の重要性を併せた受診勧奨が、より多くの大腸がんの早期発見・早期治療に繋がるものと考えられる。

## 令和元年度 出張型住民健診における発見子宮頸がん追跡調査結果

令和3年1月31日現在

### 1 検診実施状況

#### 1] 検査方式別実施状況

	受診者数	要精検者数(%)
HPV併用	8,432	405 (4.8)
ASC-US時HPV追加	28,195	534 (1.9)
細胞診のみ	1,389	57 (4.1)
総 数	38,016	996 (2.6)

#### 2] 市町別実施方式

HPV併用	小山市・野木町・下野市 芳賀町の検診車方式 足利市の30歳・35歳・40歳の希望者 那須烏山市の31歳・36歳・41歳 茂木町の30歳以上 那須塩原市の30歳から59歳 大田原市の25歳から45歳 那須町の30歳から49歳
ASC-US時HPV追加	栃木市・鹿沼市・真岡市・矢板市・益子町・塩谷町・那珂川町 芳賀町の医療機関方式 足利市の30歳・35歳・40歳の希望者以外 那須烏山市の31歳・36歳・41歳以外 茂木町の30歳未満 那須塩原市の30歳から59歳以外 大田原市の25歳から45歳以外 那須町の30歳から49歳以外
細胞診のみ	宇都宮市

### 【HPV併用】

#### 1 検診実施状況

##### 1] 受診状況

	受診者数	要精検者数(%)
総 数	8,432	405 (4.8)

## 2] 細胞診結果内訳

細胞診結果	ベセスダシステム判定結果内訳										
	受診者数	適 正 標 本									不適正 標 本
		NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adeno- carcinoma	
19歳以下	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20～24歳	192	171	14	1	5	0	0	0	0	0	1
25～29歳	411	354	32	0	22	1	0	1	0	0	1
30～34歳	927	820	72	0	30	4	0	1	0	0	0
35～39歳	1,110	977	82	3	32	12	0	4	0	0	0
40～44歳	1,075	937	107	1	23	7	0	0	0	0	0
45～49歳	836	732	79	2	15	7	0	1	0	0	0
50～54歳	752	692	48	0	6	4	0	2	0	0	0
55～59歳	643	613	22	0	6	2	0	0	0	0	0
60～64歳	691	674	10	0	1	5	0	1	0	0	0
65～69歳	796	780	12	0	3	1	0	0	0	0	0
70～74歳	584	565	9	1	4	5	0	0	0	0	0
75～79歳	293	284	7	0	2	0	0	0	0	0	0
80歳以上	119	111	5	0	2	1	0	0	0	0	0
総 数	8,432	7,713	499	8	151	49	0	10	0	0	2

## 3] HPV-DNA検査結果内訳

	受診者数	HPV(-)	HPV(+)(%)
19歳以下	3	3	0 (0.0)
20～24歳	192	171	20 (10.4)
25～29歳	411	358	52 (12.7)
30～34歳	927	835	91 (9.8)
35～39歳	1,110	1,022	85 (7.7)
40～44歳	1,075	1,002	71 (6.6)
45～49歳	836	780	55 (6.6)
50～54歳	752	724	28 (3.7)
55～59歳	643	627	16 (2.5)
60～64歳	691	675	16 (2.3)
65～69歳	796	779	17 (2.1)
70～74歳	584	566	18 (3.1)
75～79歳	293	287	6 (2.0)
80歳以上	119	113	6 (5.0)
総 数	8,432*	7,942	481 (5.7)

\*受診者数はHPV検査判定不能2人、不同意1人、希望なし6人を含む

## 2 精検結果内訳

	精 検 受 診												結 果	精 検	総 数	
	上 皮 内 がん*	上 皮 内 腺 がん*	微小浸潤扁平上皮がん*	微小浸潤腺がん*	扁平上皮がん*	腺 がん*	そ の 他 の がん	高 度 異 形 成 *	中 等 度 異 形 成	軽 度 異 形 成	腺 異 形 成 *	そ の 他 の 疾 患 **				異 常 を 認 め ず
総数	1	1	0	0	0	0	1	15	48	148	0	6	125	48	12	405

\* 追跡調査対象者

\*\*その他の疾患から3人追跡対象とした

## 3 発見がん追跡調査結果

### 1] 調査状況

	追 跡 調 査 対 象 者 数 (a)	調査除外内訳			調 査 数 (a-(b+c+d))	回収数 (%)
		詳細把握 (b)	がん以外 (c)	その他 (d)		
総 数	20	0	0	0	20	18 (90.0)

### 2] 調査結果内訳

	発 見 が ん		AIS (%)	CIN3 (%)	CIN2 (%)	CIN1 (%)	腺異形成 (%)	その他の疾患 (%)	未確定 (%)
	I B期以上 (%)	I A期 (%)							
総 数	0 (0.0)	1 (5.6)	1 (5.6)	10 (55.6)	3 (16.7)	2 (11.1)	0 (0.0)	1 (5.6)	0 (0.0)

### 3] 細胞診結果別HPV結果及び発見がん数

細胞診結果 (ベセスダシステム)	標本の適否		NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adeno-carcinoma
	適正	不適正									
	8,430	2	7,713	499	8	151	49	0	10	0	0
HPV 検査 (-)	7,942	-	7,556	343	0	30	6	-	7	-	-
HPV 検査 (+)	481	-	150	156	8	121	43	-	3	-	-
未実施	7	-	7	0	0	0	0	-	0	-	-
精検不要者数	462	-	119	343	-	-	-	-	-	-	-
要精検者数	405	-	31*	156	8	151	49	-	10	-	-
精検受診者数	345	-	25	133	5	132	41	-	9	-	-
CIN3+AIS 数	11	0	0	2	0	1	7	0	1	0	0
発見がん数	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0

\*2年連続で細胞診 (NILM)・HPV (+) なので要精検となった。

4] 発見がん内訳

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	CIN3+AIS数 (%)	発見がん (%)
19歳以下	3	0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)
20～24歳	192	16 (8.3)	15 (93.8)	0 (0.00)	0 (0.00)
25～29歳	411	41 (10.0)	31 (75.6)	0 (0.00)	0 (0.00)
30～34歳	927	68 (7.3)	62 (91.2)	2 (0.22)	0 (0.00)
35～39歳	1,110	82 (7.4)	70 (85.4)	3 (0.27)	0 (0.00)
40～44歳	1,075	60 (5.6)	53 (88.3)	2 (0.19)	0 (0.00)
45～49歳	836	45 (5.4)	39 (86.7)	4 (0.48)	1 (0.12)
50～54歳	752	27 (3.6)	26 (96.3)	0 (0.00)	0 (0.00)
55～59歳	643	16 (2.5)	9 (56.3)	0 (0.00)	0 (0.00)
60～64歳	691	12 (1.7)	10 (83.3)	0 (0.00)	0 (0.00)
65～69歳	796	11 (1.4)	8 (72.7)	0 (0.00)	0 (0.00)
70～74歳	584	16 (2.7)	14 (87.5)	0 (0.00)	0 (0.00)
75～79歳	293	5 (1.7)	4 (80.0)	0 (0.00)	0 (0.00)
80歳以上	119	6 (5.0)	4 (66.7)	0 (0.00)	0 (0.00)
総数	8,432	405 (4.8)	345 (85.2)	11 (0.13)	1 (0.01)

子宮頸がんの発見がん1人以外に60～64歳で子宮体癌が1人発見された

5] 初回、非初回別実施状況

※ 令和元年度地域保健・健康増進事業報告より、

初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回も子宮頸がん検診を受診していない者

非初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回以上子宮頸がん検診を受診している者

(1) 初回・非初回別発見数

	受診者数	要精検者数	精検受診者数 (%)	CIN3+AIS数 (%)	発見数 (%)	発見がん内訳		
						IA期 (%)	IB期以上 (%)	不明
初回	4,724	221	188 (85.1)	8 (0.17)	0 (0.00)	0 (0.0)	0 (0.0)	0
非初回	3,708	184	157 (85.3)	3 (0.08)	1 (0.03)	1 (100.0)	0 (0.0)	1
総数	8,432	405	345 (85.2)	11 (0.13)	1 (0.01)	1 (100.0)	0 (0.0)	1

\*IA期・IB期以上割合は不明の者を除いて集計

(2) 年齢別発見数

	受診者数 (%)	要精検者数 (%)	CIN3+AIS数 (%)	発見がん数 (%)	陽性反応適中度 (%)
39歳以下	初回 1,897 (71.8)	139 (7.3)	3 (0.16)	0 (0.00)	(0.0)
	非初回 746 (28.2)	68 (9.1)	2 (0.27)	0 (0.00)	(0.0)
	総数 2,643 (100.0)	207 (7.8)	5 (0.19)	0 (0.00)	(0.0)
40歳以上	初回 2,827 (48.8)	82 (2.9)	5 (0.18)	0 (0.00)	(0.0)
	非初回 2,962 (51.2)	116 (3.9)	1 (0.03)	1 (0.03)	(0.9)
	総数 5,789 (100.0)	198 (3.4)	6 (0.10)	1 (0.02)	(0.5)



6] 発見がん及び高度異形成、上皮内癌、上皮内腺癌の詳細

(1) 臨床進行期別発見数

臨床進行期	発見数
I A期及び高度異形成、上皮内癌、上皮内腺癌	5
高度異形成	5
上皮内癌	1
上皮内腺癌	1
I A1期	1
I B期以上	0
総 数	12

(2) T N M分類別発見数

TNM分類	高度異形成 (人)	上皮内癌 (人)	上皮内腺癌 (人)	I A期 (人)	I B期以上 (人)
T0・NO・MO	0	0	1	0	0
Tis・NO・MO	0	1	0	0	0
T1・NO・MO	0	1	0	0	0
T1a1・NO・MO	0	0	0	1	0
T未記入・N未記入・M未記入	5	3	0	0	0
総 数	5	5	1	1	0

(3) 組織分類別発見数

	I A期・I B期以外 (人)	I A期 (人)	I B期以上 (人)
高度異形成	5	-	-
上皮内癌	5	-	-
上皮内腺癌	1	-	-
扁平上皮癌	0	1	0
腺 癌	0	0	0
総 数	11	1	0

(4) 治療分類別発見数

術 式	高度異形成 (人)	上皮内癌 (人)	上皮内腺癌 (人)	I A期 (人)	I B期以上 (人)
子宮頸部円錐切除術	1	5	0	0	0
単純子宮全摘出術	0	0	1	1	0
広汎子宮全摘出術	0	0	0	0	0
未記入	4	0	0	0	0
総 数	5	5	1	1	0

集計の対象外であったが中等度異形成で子宮頸部円錐切除術を1人施行

## 【ASC-US時HPV追加】

### 1 検診実施状況

#### 1] 受診状況

	受診者数	要精検者数(%)
総 数	28,195	534 (1.9)

#### 2] 細胞診結果の内訳

細胞診結果	受診者数	ベセスダシステム判定結果内訳									不適正 標 本
		適 正 標 本									
		NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adeno- carcinoma	
19歳以下	20	16	3	0	1	0	0	0	0	0	0
20～24歳	462	413	24	0	24	1	0	0	0	0	0
25～29歳	773	710	28	1	31	2	0	1	0	0	0
30～34歳	1,326	1,228	57	3	26	12	0	0	0	0	0
35～39歳	1,723	1,581	89	4	32	13	1	3	0	0	0
40～44歳	2,002	1,863	89	1	35	13	0	1	0	0	0
45～49歳	2,502	2,308	130	1	46	9	0	6	0	1	1
50～54歳	2,181	2,061	86	1	24	5	0	3	0	0	1
55～59歳	2,545	2,479	52	1	8	5	0	0	0	0	0
60～64歳	3,688	3,605	60	1	12	9	0	1	0	0	0
65～69歳	4,796	4,698	70	2	20	5	0	1	0	0	0
70～74歳	3,755	3,683	48	1	19	4	0	0	0	0	0
75～79歳	1,743	1,716	21	1	3	2	0	0	0	0	0
80歳以上	679	662	12	0	2	3	0	0	0	0	0
総 数	28,195	27,023	769	17	283	83	1	16	0	1	2

#### 3] ASC-USと判定された受診者のHPV-DNA検査結果の内訳

	受診者数	HPV(-)	HPV(+)(%)
19歳以下	3	3	0 (0.0)
20～24歳	24	10	14 (58.3)
25～29歳	28	18	10 (35.7)
30～34歳	57	32	25 (43.9)
35～39歳	89	78	11 (12.4)
40～44歳	89	76	13 (14.6)
45～49歳	130	116	14 (10.8)
50～54歳	86	78	8 (9.3)
55～59歳	52	48	4 (7.7)
60～64歳	60	47	13 (21.7)
65～69歳	70	61	9 (12.9)
70～74歳	48	41	7 (14.6)
75～79歳	21	18	3 (14.3)
80歳以上	12	10	2 (16.7)
総 数	769	636	133 (17.3)

## 2 精検結果内訳

	精 検 受 診													結 果	精 検	総 数
	上 皮 内 がん*	上 皮 内 腺 がん*	微 小 浸 潤 扁 平 上 皮 がん*	微 小 浸 潤 腺 がん*	扁 平 上 皮 がん*	腺 がん*	そ の 他 の がん*	高 度 異 形 成 *	中 等 度 異 形 成	軽 度 異 形 成	腺 異 形 成 *	そ の 他 の 疾 患 **	異 常 を 認 め ず			
総数	2	1	0	0	4	0	1	48	51	182	0	11	117	72	45	534

\* 追跡調査対象者

\*\* その他の疾患から1人追跡対象とした

## 3 発見がん追跡調査結果

### 1] 調査状況

	追 跡 調 査 対 象 者 数 (a)	調 査 除 外 内 訳			調 査 数 (a-(b+c+d))	回 収 数 (%)
		詳 細 把 握 (b)	が ん 以 外 (c)	そ の 他 (d)		
総 数	56	0	0	1	55	55 (100.0)

### 2] 調査結果内訳

	発 見 が ん			AIS (%)	CIN3 (%)	CIN2 (%)	CIN1 (%)	腺 異 形 成 (%)	そ の 他 疾 患 (%)	未 確 定 (%)
	I B 期 以 上 (%)	I A 期 (%)	不 明 (%)							
総 数	3 (5.5)	1 (1.8)	1 (1.8)	1 (1.8)	24 (43.6)	11 (20.0)	5 (9.1)	0 (0.0)	1 (1.8)	8 (14.5)

### 3] 細胞診結果別発見がん数

細胞診結果 (ベセスダシステム)	標本の適否		NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adeno-carcinoma
	適 正	不 適 正									
	28,193	2	27,023	769	17	283	83	1	16	0	1
精検不要者数	636	-	-	636*	-	-	-	-	-	-	-
要精検者数	534	-	-	133	17	283	83	1	16	-	1
精検受診者数	417	-	-	105	16	213	67	1	14	-	1
CIN3+AIS 数	25	0	0	4	4	1	15	1	0	0	0
発見がん数	5	0	0	0	0	0	4	0	1	0	0

\* 細胞診はASC-USでHPVが (-) なので精検不要。

4] 発見がん内訳

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	CIN3+AIS数 (%)	発見がん数 (%)
19歳以下	20	1 (5.0)	0 (0.0)	0 (0.00)	0 (0.00)
20～24歳	462	39 (8.4)	30 (76.9)	1 (0.22)	0 (0.00)
25～29歳	773	45 (5.8)	29 (64.4)	2 (0.26)	0 (0.00)
30～34歳	1,326	66 (5.0)	53 (80.3)	1 (0.08)	0 (0.00)
35～39歳	1,723	64 (3.7)	55 (85.9)	8 (0.46)	1 (0.06)
40～44歳	2,002	63 (3.1)	46 (73.0)	4 (0.20)	1 (0.05)
45～49歳	2,502	77 (3.1)	61 (79.2)	3 (0.12)	1 (0.04)
50～54歳	2,181	41 (1.9)	35 (85.4)	0 (0.00)	1 (0.05)
55～59歳	2,545	18 (0.7)	14 (77.8)	0 (0.00)	0 (0.00)
60～64歳	3,688	36 (1.0)	30 (83.3)	2 (0.05)	0 (0.00)
65～69歳	4,796	37 (0.8)	26 (70.3)	1 (0.02)	0 (0.00)
70～74歳	3,755	31 (0.8)	27 (87.1)	2 (0.05)	0 (0.00)
75～79歳	1,743	9 (0.5)	7 (77.8)	1 (0.06)	0 (0.00)
80歳以上	679	7 (1.0)	4 (57.1)	0 (0.00)	1 (0.15)
総数	28,195	534 (1.9)	417 (78.1)	25 (0.09)	5 (0.02)

子宮頸がんの発見がん5人以外に55～59歳と65～69歳で子宮体癌が2人発見された。

5] 初回、非初回別実施状況

※令和元年度地域保健・健康増進事業報告より、

初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回も子宮頸がん検診を受診していない者

非初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回以上子宮頸がん検診を受診している者

(1) 初回・非初回別発見数

	受診者数	要精検者数	精検受診者数 (%)	CIN3+AIS数 (%)	発見数 (%)	発見がん内訳		
						I A期 (%)	I B期以上 (%)	不明
初回	5,847	228	174 (76.3)	12 (0.21)	5 (0.09)	1 (25.0)	3 (75.0)	1
非初回	22,348	306	243 (79.4)	13 (0.06)	0 (0.00)	0 (0.0)	0 (0.0)	0
総数	28,195	534	417 (78.1)	25 (0.09)	5 (0.02)	1 (25.0)	3 (75.0)	1

\* I A期・I B期以上割合は不明の者を除いて集計

(2) 年齢別実施状況

	受診者数 (%)	要精検者数 (%)	CIN3+AIS数 (%)	発見がん数 (%)	陽性反応適中度 (%)
初 回	2,070 (48.1)	129 (6.2)	6 (0.29)	1 (0.05)	(0.8)
39歳以下 非初回	2,234 (51.9)	86 (3.8)	6 (0.27)	0 (0.00)	(0.0)
総 数	4,304 (100.0)	215 (5.0)	12 (0.28)	1 (0.02)	(0.5)
初 回	3,777 (15.8)	99 (2.6)	6 (0.16)	4 (0.11)	(4.0)
40歳以上 非初回	20,114 (84.2)	220 (1.1)	7 (0.03)	0 (0.00)	(0.0)
総 数	23,891 (100.0)	319 (1.3)	13 (0.05)	4 (0.02)	(1.3)

6] 発見がんの詳細及び高度異形成、上皮内癌、上皮内腺癌の詳細

(1) 臨床進行期別発見数

臨床進行期	発見数	
I A期及び高度異形成、上皮内癌、上皮内腺癌	高度異形成	17
	上皮内癌	7
	上皮内腺癌	1
	I A1期	1
I B期以上	I B1期	3
不明		1
総 数		30

(2) TNM分類別発見数

TNM分類	高度異形成 (人)	上皮内癌 (人)	上皮内腺癌 (人)	I A期 (人)	I B期以上 (人)	不明 (人)
T0・N未記入・M未記入	0	1	0	0	0	0
Tis・N0・MO	1	0	0	0	0	0
Tis・NX・MO	0	1	0	0	0	0
T1a1・NO・MO	0	0	0	1	0	0
T1b1・N0・MO	0	0	0	0	1	0
T1b1・NX・M不明	0	0	0	0	1	0
T1b1・N1・MO	0	0	0	0	1	0
T未記入・N未記入・M未記入	16	5	1	0	0	1
総数	17	7	1	1	3	1

(3) 組織分類別発見数

	I A期・I B期以外 (人)	I A期 (人)	I B期以上 (人)	不明 (人)
高度異形成	17	0	-	-
上皮内癌	7	0	-	-
上皮内腺癌	1	0	-	-
扁平上皮癌	0	1	3	0
腺癌	0	0	0	0
不明	0	0	0	1
総 数	25	1	3	1

(4) 治療分類別発見数

1) 手術療法

術式	高度異形成 (人)	上皮内癌 (人)	上皮内腺癌 (人)	I A期 (人)	I B期以上 (人)	不明 (人)
子宮頸部円錐切除術	11	6	0	0	0	0
単純子宮全摘出術	0	1	1	1	0	0
広汎子宮全摘出術+放射線療法	0	0	0	0	1	0
未記入	6	0	0	0	0	0
総 数	17	7	1	1	1	0

不明で経過観察が1人

集計の対象外であったが中等度異形成で子宮頸部円錐切除術を1人施行

2) 化学療法および放射線療法

I B期以上で化学療法+放射線療法を2人施行

## 【細胞診のみ】

### 1 検診実施状況

#### 1] 受診状況

	受診者数	要精検者数(%)
総 数	1,389	57 (4.1)

#### 2] 細胞診結果の内訳

	受診者数	ベセスダシステム判定結果内訳										
		適 正 標 本									不適正 標 本	
		NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adeno- carcinoma		
19 歳 以下	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20 ～ 24 歳	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25 ～ 29 歳	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
30 ～ 34 歳	12	10	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
35 ～ 39 歳	18	16	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
40 ～ 44 歳	100	95	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0
45 ～ 49 歳	106	96	8	0	2	0	0	0	0	0	0	0
50 ～ 54 歳	86	80	5	0	0	1	0	0	0	0	0	0
55 ～ 59 歳	115	110	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0
60 ～ 64 歳	208	200	6	0	1	1	0	0	0	0	0	0
65 ～ 69 歳	315	310	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0
70 ～ 74 歳	284	274	4	1	3	2	0	0	0	0	0	0
75 ～ 79 歳	107	104	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80 歳 以上	34	34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総 数	1,389	1,332	38	1	11	7	0	0	0	0	0	0

### 2 精検結果内訳

	精 検 受 診 *												結 果	精 検	総 数	
	上 皮 内 が ん *	上 皮 内 腺 が ん *	微 小 浸 潤 扁 平 上 皮 が ん *	微 小 浸 潤 腺 が ん *	扁 平 上 皮 が ん *	腺 が ん *	そ の 他 の が ん *	高 度 異 形 成 *	中 等 度 異 形 成	軽 度 異 形 成	腺 異 形 成 *	そ の 他 の 疾 患				異 常 を 認 め ず
総数	1	0	0	0	0	0	0	1	3	10	0	5	25	12	0	57

\* 追跡調査対象者

### 3 発見がん追跡調査結果

#### 1] 調査状況

	追跡調査 対象者数 (a)	調査除外内訳			調査数 (a-(b+c+d))	回収数 (%)
		詳細把握 (b)	がん以外 (c)	その他 (d)		
総数	2	0	0	0	2	2 (100.0)

#### 2] 調査結果内訳

	発見がん		AIS (%)	CIN3 (%)	CIN2 (%)	CIN1 (%)	腺異形成 (%)	その他 疾患 (%)	異常なし (%)
	I B期以上 (%)	I A期 (%)							
総数	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)

#### 3] 細胞診結果別発見がん数

細胞診結果 (ベセスダシステム)	標本の適否		NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adeno- carcinoma
	適正	不適正									
	1,389	0									
要精検者数	57	-	-	38	1	11	7	0	0	0	0
精検受診者数	45	-	-	28	1	10	6	-	-	-	-
CIN3+AIS 数	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
発見がん数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

#### 4] 発見がん内訳

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	CIN3+AIS数 (%)	発見がん数 (%)
19歳以下	0	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
20～24歳	2	0 (0.0)	0 (0.0)	- (-)	- (-)
25～29歳	2	1 (50.0)	1 (100.0)	0 (0.00)	0 (0.00)
30～34歳	12	2 (16.7)	2 (100.0)	0 (0.00)	0 (0.00)
35～39歳	18	2 (11.1)	2 (100.0)	1 (5.56)	0 (0.00)
40～44歳	100	5 (5.0)	5 (100.0)	0 (0.00)	0 (0.00)
45～49歳	106	10 (9.4)	6 (60.0)	0 (0.00)	0 (0.00)
50～54歳	86	6 (7.0)	3 (50.0)	0 (0.00)	0 (0.00)
55～59歳	115	5 (4.3)	5 (100.0)	0 (0.00)	0 (0.00)
60～64歳	208	8 (3.8)	6 (75.0)	0 (0.00)	0 (0.00)
65～69歳	315	5 (1.6)	5 (100.0)	0 (0.00)	0 (0.00)
70～74歳	284	10 (3.5)	8 (80.0)	1 (0.35)	0 (0.00)
75～79歳	107	3 (2.8)	2 (66.7)	0 (0.00)	0 (0.00)
80歳以上	34	0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)
総数	1,389	57 (4.1)	45 (78.9)	2 (0.14)	0 (0.00)



## 5] 初回、非初回別実施状況

※令和元年度地域保健・健康増進事業報告より、

初 回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回も子宮頸がん検診を受診していない者

非初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回以上子宮頸がん検診を受診している者

### (1) 初回、非初回別発見数

	受診者数	要精検者数	精検受診者数 (%)	CIN3+AIS数 (%)	発見数 (%)	発見がん内訳		
						I A期 (%)	I B期以上 (%)	不明
初 回	582	30	25 (83.3)	2 (0.34)	0 (0.00)	0 (0.0)	0 (0.0)	0
非初回	807	27	20 (74.1)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.0)	0 (0.0)	0
総 数	1,389	57	45 (78.9)	2 (0.14)	0 (0.00)	0 (0.0)	0 (0.0)	0

### (2) 年齢別実施状況

	受診者数 (%)	要精検者数 (%)	CIN3+AIS数 (%)	発見がん数 (%)	陽性反応適中度 (%)
39歳以下 初 回	28 (82.4)	5 (17.9)	1 (3.57)	0 (0.00)	(0.0)
39歳以下 非初回	6 (17.6)	0 (0.0)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)
39歳以下 総 数	34 (100.0)	5 (14.7)	1 (2.94)	0 (0.00)	(0.0)
40歳以上 初 回	554 (40.9)	25 (4.5)	1 (0.18)	0 (0.00)	(0.0)
40歳以上 非初回	801 (59.1)	27 (3.4)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)
40歳以上 総 数	1,355 (100.0)	52 (3.8)	1 (0.07)	0 (0.00)	(0.0)

## 6] 発見がんの詳細及び高度異形成、上皮内癌、上皮内腺癌の詳細

### (1) 臨床進行期別発見数

臨床進行期	発見数	
I A期及び高度異形成、上皮内癌、上皮内腺癌	高度異形成	1
	上皮内癌	1
	上皮内腺癌	0
	I A期	0
I B期以上	0	
総 数	2	

### (2) TNM分類別発見数

TNM分類	高度異形成 (人)	上皮内癌 (人)	上皮内腺癌 (人)	I A期 (人)	I B期以上 (人)
T未記入・N未記入・M未記入	1	1	0	0	0
総 数	1	1	0	0	0

(3) 組織分類別発見数

	I A期・I B期以外 (人)	I A期 (人)	I B期以上 (人)
高度異形成	1	-	-
上皮内癌	1	-	-
上皮内腺癌	0	-	-
扁平上皮癌	0	0	0
腺癌	0	0	0
総 数	2	0	0

(4) 治療分類別発見数

術式	高度異形成 (人)	上皮内癌 (人)	上皮内腺癌 (人)	I A期 (人)	I B期以上 (人)
子宮頸部円錐切除術	1	0	0	0	0
単純子宮全摘出術	0	1	0	0	0
総数	1	1	0	0	0

4 まとめ

令和元年度の発見子宮頸がん追跡調査の結果は、治療対象である子宮頸部上皮内腫瘍3（以下CIN3）及び上皮内腺癌（以下AIS）を追加して集計した。発見がん数はHPV併用方式で1人（I A期）、CIN3+AIS発見数は11人であり、発見がん及びCIN3+AISの発見数は12人であった。ASC-US時HPV追加方式で発見がん数は5人（I A期1人、I B期3人、不明1人）、CIN3+AIS発見数は25人であり、発見がん及びCIN3+AISの発見数は30人であった。細胞診のみの方式では発見がんは0人、CIN3+AIS発見数は2人であった。がん発見率は、HPV併用方式で0.01%、ASC-US時HPV追加方式で0.02%であった。CIN3+AIS発見率は、HPV併用方式で0.13%、ASC-US時HPV追加方式で0.09%であり、HPV併用方式のCIN3+AIS発見率が高い傾向にあった。発見がん及びCIN3+AISを合わせた発見率は、HPV併用方式0.14%でASC-US時HPV追加方式は0.12%であった。

初回、非初回別実施状況は、HPV併用方式では初回受診・39歳以下、非初回受診・39歳以下、初回受診・40歳以上はすべて0.00%、非初回受診・40歳以上で0.03%のがん発見率であった。CIN3+AIS発見率は、初回受診・39歳以下0.16%、非初回受診・39歳以下0.27%、初回受診・40歳以上0.18%、非初回受診・40歳以上で0.03%であった。ASC-US時HPV追加方式では初回受診・39歳以下0.05%、非初回受診・39歳以下0.00%、初回受診・40歳以上0.11%、非初回受診・40歳以上0.00%のがん発見率であった。CIN3+AIS発見率は、初回受診・39歳以下0.29%、非初回受診・39歳以下0.27%、初回受診・40歳以上0.16%、非初回受診・40歳以上で0.03%であった。細胞診のみの方式のCIN3+AIS発見率は、初回受診・39歳以下3.57%、非初回受診・39歳以下0.00%、初回受診・40歳以上0.18%、非初回受診・40歳以上で0.00%であった。

組織型は、HPV併用方式では発見されたがん1人（0.01%）は扁平上皮系であり、前駆病変は高度異形成が5人（0.06%）、上皮内癌が5人（0.06%）、上皮内腺癌が1人（0.01%）であった。またASC-US時HPV追加方式では発見された5人のうち、扁平上皮系が4人（0.01%）、不明が1人（0.004%）であり、前駆病変は高度異形成が17人（0.06%）、上皮内癌が7人（0.02%）、上皮内腺癌が1人（0.004%）であった。細胞診のみの方式では高度異形成、上皮内癌それぞれ1人

(0.07%) ずつであった。

治療法の手術方式別は、HPV併用方式では子宮頸部円錐切除術は高度異形成1人と上皮内癌5人、合わせて6人(0.07%)であり、単純子宮全摘出術は上皮内腺癌1人とがん1人、合わせて2人(0.02%)であった。ASC-US時HPV追加方式では、子宮頸部円錐切除術は高度異形成11人と上皮内癌6人、合わせて17人(0.06%)であり、単純子宮全摘出術は上皮内癌1人、上皮内腺癌1人とがん1人と、合わせて3人(0.01%)であった。また広汎子宮全摘出術は1人(0.004%)であった。細胞診のみの方式では子宮頸部円錐切除術が高度異形成で1人(0.07%)、単純子宮全摘出術は上皮内癌で1人(0.07%)であった。

当施設における子宮頸がん検診の成績と事業評価指標値との比較は、付表の通りである。追跡調査の結果、がん発見率、要精検率及び陽性反応適中度は、HPV併用方式、ASC-US時HPV追加方式、細胞診のみの方式の3方式ともに、許容値を満たしていなかった。がん発見率は、以前はがんに含まれていた上皮内癌、上皮内腺癌が、がん取扱い規約の変更により、がんとして取り扱われなくなったことも一因である。精検受診率は、3方式とも許容値を満たしていたが、目標値は満たしていなかった。ベセスダシステム導入に伴い、ASC-US判定が増えたことにより、要精検率と陽性反応適中度等は許容値を満たしていない値になっているのが現状である。今後は、ベセスダシステムに準拠した新たながん検診事業評価指標値が必要と考える。

付表 がん検診事業評価指標との比較

	受診者数	要精検者数(%)	精検受診率(%)	発見がん数(%)	陽性反応適中度(%)
事業団 令和元年度	HPV併用 8,432	405(4.8)	85.2	1(0.01)	(0.2)
	ASC-US時 HPV追加 28,195	534(1.9)	78.1	5(0.02)	(0.9)
	細胞診のみ 1,389	57(4.1)	78.9	0(0.00)	(0.0)
事業団 平成30年度	HPV併用 12,250	445(3.6)	86.5	2(0.02)	(0.4)
	ASC-US時 HPV追加 28,844	458(1.6)	71.0	4(0.01)	(0.9)
	細胞診のみ 1,377	48(3.5)	89.6	0(0.00)	(0.0)
事業団 平成29年度	HPV併用 8,556	489(5.7)	86.1	8(0.09)	(1.6)
	ASC-US時 HPV追加 29,760	608(2.0)	80.6	12(0.04)	(2.0)
	細胞診のみ 1,397	38(2.7)	81.6	0(0.00)	(0.0)
がん検診事業 評価指標	許容値	1.4%以下	70.0%以上	0.05%以上	4.0%以上
	目標値		90.0%以上		

# 令和元年度 出張型住民健診における発見乳がん追跡調査結果

令和3年1月31日現在

本調査票では、マンモグラフィをMG、超音波検査をUSと表記する。

## 1 検診実施状況

### 1] 検診方式別実施状況

	受診者数	要精検者数 (%)
MG + US	45,703	1,669 (3.7)
US	5,386	172 (3.2)
総 数	51,089	1,841 (3.6)

### 2] 年齢別実施状況

	39歳以下 (%)	40～49歳 (%)	50～59歳 (%)	60～69歳 (%)	70歳以上 (%)
MG + US	1,086 (2.4)	9,284 (20.3)	8,466 (18.5)	14,706 (32.2)	12,161 (26.6)
US	5,028 (93.4)	151 (2.8)	57 (1.1)	68 (1.3)	82 (1.5)
総 数	6,114 (12.0)	9,435 (18.5)	8,523 (16.7)	14,774 (28.9)	12,243 (24.0)

## 2 精検結果内訳

	精 検 受 診									精 検 未 把 握	精 検 未 受 診	総 数
	早 期 が ん	進 行 が ん	が ん 疑 い	線 維 腺 腫	乳 腺 症	嚢 胞	乳 管 内 乳 頭 腫	そ の 他 の 疾 患	異 常 な し			
総 数	96	20	40	260	368	220	73	93	481	163	27	1,841

## 3 発見がん追跡調査結果

### 1] 調査状況

	追跡調査 対象者数 (a)	調 査 除 外 内 訳			追加調査 (e)*	調 査 数 (a-(b+c+d)+e)	回収数 (%)
		詳細把握 (b)	がん以外 (c)	その他 (d)			
総数	156	4	0	1	7	158	149 (94.3)

\*追加調査：精密検査結果連絡票ではその他の疾患であったが、記載よりがんが疑われるため調査とした者

### 2] 調査結果内訳（調査数及び調査前に発見がんの詳細を把握していた数を併せた詳細）

	発 見 が ん			良 性 (%)	経 過 観 察 (%)	異 常 な し (%)	未 確 定 (%)	追 跡 不 能 (%)
	早 期 (%)	進 行 (%)	不 明 (%)					
総数	109 (67.3)	19 (11.7)	0 (0.0)	14 (8.6)	10 (6.2)	0 (0.0)	1 (0.6)	9 (5.6)

### 3] 検診方式別調査結果内訳

	発見がん			良性	経過観察	異常なし	未確定	追跡不能
	早期	進行	不明					
MG+US	106	17	0	14	10	0	1	8
US	3	2	0	0	0	0	0	1

### 4] 発見がん内訳

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	発見がん数 (%)
29歳以下	153	9 (5.9)	9 (100.0)	0 (0.00)
30～34歳	2,167	91 (4.2)	80 (87.9)	2 (0.09)
35～39歳	3,794	166 (4.4)	145 (87.3)	3 (0.08)
40～44歳	4,760	328 (6.9)	278 (84.8)	9 (0.19)
45～49歳	4,675	275 (5.9)	245 (89.1)	11 (0.24)
50～54歳	4,054	171 (4.2)	154 (90.1)	12 (0.30)
55～59歳	4,469	144 (3.2)	128 (88.9)	13 (0.29)
60～64歳	6,201	159 (2.6)	147 (92.5)	16 (0.26)
65～69歳	8,573	223 (2.6)	209 (93.7)	22 (0.26)
70～74歳	7,141	172 (2.4)	163 (94.8)	23 (0.32)
75～79歳	3,695	76 (2.1)	71 (93.4)	12 (0.32)
80歳以上	1,407	27 (1.9)	22 (81.5)	5 (0.36)
総数	51,089	1,841 (3.6)	1,651 (89.7)	128 (0.25)

### 5] 臨床病期 (Stage) 分類別発見数

臨床病期分類	発見数 (%)
早期 0 (Tis)	20 (85.2)
I	89
進行 II A	11
II B	7 (14.8)
III A	1
総数	128

※ 両側乳がん6人あり、Stageの高い方に計上

### 6] 組織学的分類別発見数

組織学的分類	発見数 (%)
非浸潤性乳管癌	21 (16.4)
微小浸潤癌	4 (3.1)
浸潤性乳管癌 腺管形成型	20 (15.6)
充実型	14 (10.9)
硬性型	34 (26.6)
亜型不明	19 (14.8)
特殊型 粘液癌	4 (3.1)
浸潤性小葉癌	4 (3.1)
アポクリン癌	4 (3.1)
浸潤性微小乳頭癌	1 (0.8)
不明・未記入	3 (2.3)
総数	128

※ 両側乳がん6人あり、Stageの高い方に計上

#### 4 検診方式別実施状況

1] MG + US併用方式 (MGはMLO1方向撮影、クーポン券利用の40歳代は原則2方向撮影)

##### (1) 年齢別検診実施状況

	受診者数	要精検者数 (%)	検査別要精検者数 (%)		精検受診者数 (%)	発見がん数 (%)
			MG	US		
29歳以下	5	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	- (-)	- (0.00)
30~34歳	242	24 (9.9)	19 (7.9)	6 (2.5)	24 (100.0)	0 (0.00)
35~39歳	839	79 (9.4)	65 (7.7)	21 (2.5)	72 (91.1)	2 (0.24)
40~44歳	4,638	326 (7.0)	191 (4.1)	169 (3.6)	276 (84.7)	9 (0.19)
45~49歳	4,646	273 (5.9)	148 (3.2)	158 (3.4)	244 (89.4)	11 (0.24)
50~54歳	4,027	171 (4.2)	97 (2.4)	93 (2.3)	154 (90.1)	12 (0.30)
55~59歳	4,439	143 (3.2)	81 (1.8)	73 (1.6)	128 (89.5)	13 (0.29)
60~64歳	6,170	159 (2.6)	94 (1.5)	84 (1.4)	147 (92.5)	16 (0.26)
65~69歳	8,536	222 (2.6)	129 (1.5)	117 (1.4)	208 (93.7)	22 (0.26)
70~74歳	7,101	169 (2.4)	101 (1.4)	85 (1.2)	160 (94.7)	21 (0.30)
75~79歳	3,672	76 (2.1)	49 (1.3)	37 (1.0)	71 (93.4)	12 (0.33)
80歳以上	1,388	27 (1.9)	18 (1.3)	13 (0.9)	22 (81.5)	5 (0.36)
総数	45,703	1,669 (3.7)	992 (2.2)	856 (1.9)	1,506 (90.2)	123 (0.27)

\* 検査別要精検者数については総合判定後の内訳

##### (2) 臨床病期 (Stage) 分類別発見数

臨床病期分類	発見数 (%)
早期	20 (86.2)
0 (Tis)	20
I	86
進行	6 (13.8)
II A	10
II B	6
III A	1
総数	123

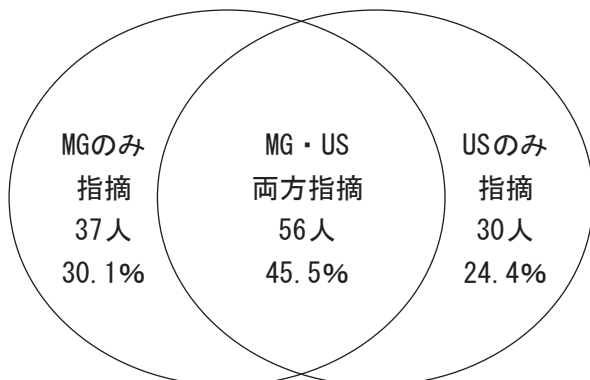
※ 両側乳がん6人あり、Stageの高い方に計上

##### (3) 組織学的分類別発見数

組織学的分類	発見数 (%)
非浸潤性乳管癌	21 (17.1)
微小浸潤癌	4 (3.3)
腺管形成型	20 (16.3)
浸潤性充実型乳管癌	12 (9.8)
硬性型	32 (26.0)
垂型不明	18 (14.6)
粘液癌	4 (3.3)
浸潤性小葉癌	4 (3.3)
アポクリン癌	4 (3.3)
浸潤性微小乳頭癌	1 (0.8)
不明・未記入	3 (2.4)
総数	123

※ 両側乳がん6人あり、Stageの高い方に計上

##### (4) 検査方法別発見がん内訳



(5) 手術方法

切除範囲	乳房部分切除術	乳房切除術	不明
総数	73	53	3

\*両側乳がんが6人。のべ総数129。

(6) 検査方法別発見率及び陽性反応適中度

		MG		US		総数	
実施人数						45,703	
発見がん数 (%)		93	(0.20)	86	(0.19)	123	(0.27)
総合判定前	要精検者数 (%)	1,280	(2.8)	872	(1.9)	1,957	(4.3)
	陽性反応適中度 (%)	7.3		8.8		6.3	
総合判定後	要精検者数 (%)	992	(2.2)	856	(1.9)	1,669	(3.7)
	陽性反応適中度 (%)	9.4		10.0		7.4	

(7) 初回・非初回別実施状況

※ 令和元年度地域保健・健康増進事業報告より、

初 回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回も乳がん検診を受診していない者

非初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回以上乳がん検診を受診している者

1) 検査方法別要精検率内訳

	初回 (16.2%)				非初回 (83.8%)			
	受診者数	要精検者数 (%)	検査方法別要精検率 (%)		受診者数	要精検者数 (%)	検査方法別要精検率 (%)	
			MG	US			MG	US
29歳以下	5	0 (0.0)	0.0	0	0	- (-)	-	-
30～34歳	143	22 (15.4)	11.9	4.2	99	2 (2.0)	2.0	0.0
35～39歳	267	36 (13.5)	10.1	4.9	572	43 (7.5)	6.6	1.4
40～44歳	1149	159 (13.8)	8.3	7.3	3,489	167 (4.8)	2.8	2.4
45～49歳	962	132 (13.7)	8.7	6.8	3,684	141 (3.8)	1.7	2.5
50～54歳	815	90 (11.0)	7.4	5.5	3,212	81 (2.5)	1.2	1.5
55～59歳	768	77 (10.0)	6.4	4.3	3,671	66 (1.8)	0.9	1.1
60～64歳	972	74 (7.6)	5.8	3.2	5,198	85 (1.6)	0.7	1.0
65～69歳	1,054	84 (8.0)	6.1	3.2	7,482	138 (1.8)	0.9	1.1
70～74歳	768	74 (9.6)	7.3	3.5	6,333	95 (1.5)	0.7	0.9
75～79歳	360	27 (7.5)	6.4	2.5	3,312	49 (1.5)	0.8	0.8
80歳以上	133	8 (6.0)	6.0	1.5	1,255	19 (1.5)	0.8	0.9
総 数	7,396	783 (10.6)	7.3	4.7	38,307	886 (2.3)	1.2	1.3

\*検査方法別要精検率については総合判定後の内訳

2) 初回、非初回別 病期分類内訳

病期分類		初回：受診者数 / 発見率(%)*	非初回：受診者数 / 発見率(%)*	総数：受診者数 / 発見率(%)*
		7,396/0.66	38,307/0.19	45,703/0.27
		発見数(%)	発見数(%)	発見数(%)
早期	0	7 (81.6)	13 (89.2)	20 (86.2)
	I	33	53	86
進行	II A	7	3	10
	II B	2 (18.4)	4 (10.8)	6 (13.8)
	III A	0	1	1
総 数		49	74	123

\*発見率は未記入、不明のものもすべて含む

2] US法

※ 主に30代のUS単独検診と、40歳以上で当施設が定める禁忌事項に当てはまりMG撮影が出来なかった受診者

(1) 年齢別検診実施状況

	受診者数	要精検者数(%)	精検受診者数(%)	発見がん数(%)
29歳以下	148	9 (6.1)	9 (100.0)	0 (0.00)
30～34歳	1,925	67 (3.5)	56 (83.6)	2 (0.10)
35～39歳	2,955	87 (2.9)	73 (83.9)	1 (0.03)
40～44歳	122	2 (1.6)	2 (100.0)	0 (0.00)
45～49歳	29	2 (6.9)	1 (50.0)	0 (0.00)
50～54歳	27	0 (0.0)	- (-)	- (0.00)
55～59歳	30	1 (3.3)	0 (0.0)	- (0.00)
60～64歳	31	0 (0.0)	- (-)	- (0.00)
65～69歳	37	1 (2.7)	1 (100.0)	0 (0.00)
70～74歳	40	3 (7.5)	3 (100.0)	2 (5.00)
75～79歳	23	0 (0.0)	- (-)	- (0.00)
80歳以上	19	0 (0.0)	- (-)	- (0.00)
総 数	5,386	172 (3.2)	145 (84.3)	5 (0.09)

(2) 臨床病期 (Stage) 分類別発見数

臨床病期分類		発見数(%)
早期	I	3 (60.0)
進行	II A	1 (20.0)
	II B	1 (20.0)
総 数		5



(3) 組織学的分類別発見数		(4) 手術方法		
組織学的分類	発見数 (%)	切除範囲	乳房部分切除	乳房切除術
浸潤性 乳管癌	充実型			
	硬性型			
	亜型不明			
総数	5	総数	2	3

(5) 検査方法別発見率及び陽性反応適中度				
	受診者数	要精検者数	発見がん数 (%)	陽性反応適中度 (%)
US	5,386	172	5 (0.09)	2.9

(6) 40歳未満に限定した陽性反応適中度				
	受診者数	要精検者数	発見がん数 (%)	陽性反応適中度 (%)
US	5,028	163	3 (0.06)	1.8

## 5 まとめ

令和元年度の受診者数は51,089人であり、平成30年度の51,596人から507人減少している。

追跡調査票の回収率は94.3%と平成30年度の86.4%から大きく増加した。発見がん数は128人であった。要精検率3.6%、精検受診率89.7%、がん発見率0.25%、陽性反応適中度7.0%であり、がん検診事業評価指数の許容値を満たしていた。

1) MG + US併用方式の受診者数は45,703人で、当施設の乳がん検診の89.5%を占めている。発見がん数は123人であった。要精検率3.7%、精検受診率90.2%、がん発見率0.27%、陽性反応適中度7.4%であり、がん検診事業評価指数の許容値を満たしていた。MGとUS両方で指摘し発見されたがんは56人(45.5%)、USのみで発見されたがんが30人(24.4%)、MGのみで発見されたがんは37人(30.1%)であった。

平成29年度より分離併用総合判定方式を導入し、今年度は3年目となる。総合判定の対象となったのは1,957人(4.3%)であり、総合判定後1,669人(3.7%)が要精検、がん発見率0.27%、陽性反応適中度7.4%となった。平成30年度、総合判定の対象となったのは2,167人(4.7%)であり、総合判定後1,775人(3.9%)が要精検、がん発見率0.23%、陽性反応適中度5.9%で、要精検率は変わらないが、がん発見率、陽性反応適中度は向上した。

平成29年度に総合判定で精検不要とした受診者のうち、その後2年間で当施設を受診し要精検となり、追跡の結果がんだった症例が2例あった。この2例ともに、がん発見時に要精検とした所見と総合判定時に精検不要とした所見は、異なる部位を指摘していた。このことから精検不要としたことは適切であったと考えられる。今後も総合判定後精検不要とした受診者の動向を注視していきたい。

2) US単独方式の受診者数は5,386人であり、がん発見数は5人でがん発見率0.09%であった。

付表 がん検診事業評価指標との比較

	受診者数	要精検者数 (%)	精検 受診率 (%)	発見がん数 (%)	陽性反応 適中度 (%)
事業団 令和元年度	51,089	1,841 (3.6)	(89.7)	128 (0.25)	(7.0)
事業団 平成30年度	51,596	1,996 (3.9)	(90.8)	109 (0.21)	(5.5)
事業団 平成29年度	51,261	2,074 (4.0)	(87.7)	121 (0.24)	(5.8)
がん検診 事業評価指数	許容値 目標値	11.0%以下	80.0%以上 90.0%以上	0.23%以上	2.5%以上

※ 乳がん検診の要精検率、がん発見率、陽性反応適中度は参考値とする

## 令和元年度 出張型住民健診における発見前立腺がん追跡調査結果

令和3年1月31日現在

### 1 検診実施状況

	受診者数	要精検者数 (%)
総数	27,184	2,484 (9.1)

### 2 精検結果内訳

	精 検 受 診							精 検 未 把 握	精 検 未 受 診	総 数
	早期がん	進行がん	がん疑い	前立腺肥大症	前立腺炎	その他の疾患	異常なし			
総数	80	19	488	572	48	19	602	530	126	2,484

### 3 発見がん追跡調査結果

#### 1] 調査状況

	追跡調査対象者数 (a)	調 査 除 外 内 訳			調 査 数 (a-(b+c+d))	回収数 (%)
		詳細把握 (b)	がん以外 (c)	その他 (d)		
総数	601	7	0	4	590	566 (95.9)

#### 2] 調査結果内訳

	発 見 が ん			その他の疾患 (%)	異常なし (%)	経過観察 (%)	未確定 (%)
	早期 (%)	進行 (%)	不明 (%)				
総数	120 (21.2)	22 (3.9)	13 (2.3)	64 (11.3)	56 (9.9)	276 (48.8)	15 (2.7)

#### 3] 発見がん内訳

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	発見がん数 (%)
39歳以下	24	1 (4.2)	1 (100.0)	0 (0.00)
40～44歳	267	5 (1.9)	2 (40.0)	0 (0.00)
45～49歳	411	8 (1.9)	6 (75.0)	0 (0.00)
50～54歳	1,435	50 (3.5)	30 (60.0)	0 (0.00)
55～59歳	1,592	96 (6.0)	66 (68.8)	3 (0.19)
60～64歳	3,263	312 (9.6)	218 (69.9)	11 (0.34)
65～69歳	6,898	627 (9.1)	460 (73.4)	45 (0.65)
70～74歳	6,629	597 (9.0)	433 (72.5)	44 (0.66)
75～79歳	4,294	468 (10.9)	374 (79.9)	35 (0.82)
80歳以上	2,371	320 (13.5)	245 (76.6)	17 (0.72)
総数	27,184	2,484 (9.1)	1,835 (73.9)	155 (0.57)

4] 臨床病期 (ABCD分類) 別発見数

ABCD分類	発見数 (%)
B0	12 (7.7)
B1	71 (45.8)
B2	37 (23.9)
C	13 (8.4)
D	9 (5.8)
不明	13 (8.4)
総数	155

5] 臨床病期 (T分類) 別発見数及び所属リンパ節への転移 (N) 及び遠隔転移 (M) の内訳

臨床病期分類	発見数 (%)	所属リンパ節転移 (N)				遠隔転移 (M)			
		N0	N1	NX	不明	M0	M1	MX	不明
T1c	16 (10.3)	16	0	0	0	16	0	0	0
T2a	71 (45.8)	70	1	0	0	71	0	0	0
T2b	15 (9.7)	14	1	0	0	15	0	0	0
T2c	33 (21.3)	33	0	0	0	31	2	0	0
T3a	13 (8.4)	11	2	0	0	12	1	0	0
T3b	4 (2.6)	3	1	0	0	3	1	0	0
T4	1 (0.6)	1	0	0	0	1	0	0	0
Tx	1 (0.6)	0	0	1	0	0	0	1	0
不明	1 (0.6)	0	0	0	1	0	0	0	1
総計	155	148	5	1	1	149	4	1	1

6] Gleasonスコア別発見数

Gleasonスコア	発見数 (%)
6	27 (17.4)
7	71 (45.8)
8	25 (16.1)
9	21 (13.5)
10	2 (1.3)
不明	9 (5.8)
総数	155

7] 治療法別発見数

治療法	発見数 (%)
監視療法	8 (5.2)
内分泌療法	38 (24.5)
手術療法	67 (43.2)
放射線療法	32 (20.6)
不明	10 (6.5)
総数	155

## 8] 初回、非初回別実施状況

### (1) 実施状況

	受診者数	要精検者数	精検受診者 (%)	発見数 (%)	発見がん内訳		
					早期 (%)	進行 (%)	不明
初 回	4,094	445	316 (71.0)	48 (1.17)	31 (67.4)	15 (32.6)	2
非初回	23,090	2,039	1,519 (74.5)	107 (0.46)	89 (92.7)	7 (7.3)	11
総 数	27,184	2,484	1,835 (73.9)	155 (0.57)	120 (84.5)	22 (15.5)	13

※早期・進行割合は進行度不明の者を除いて集計

※初 回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回も前立腺がん検診を受診していない者

非初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回以上前立腺がん検診を受診している者

### (2) 臨床病期 (ABCD分類)

ABCD分類	初 回		非初回	
	発見数 (%)		発見数 (%)	
早期	B0	2	10	
	B1	17 (67.4)	54 (92.7)	
	B2	12	25	
進行	C	9 (32.6)	4 (7.3)	
	D	6	3	
不 明	2	11		
総 数	48	107		

### (3) Gleasonスコア

Gleasonスコア	初 回		非初回	
	発見数 (%)		発見数 (%)	
早期	6以下	5 (16.1)	17 (19.1)	
	7以上	25 (80.6)	68 (76.4)	
	不明	1 (3.2)	4 (4.5)	
	計	31	89	
進行	6以下	1 (6.7)	0 (0.0)	
	7以上	13 (86.7)	6 (85.7)	
	不明	1 (6.7)	1 (14.3)	
	計	15	7	
不 明	2	11		
総 数	48	107		

(4) 初回のうち進行がんであった15人の精検結果状況

ABCD分類	検診時 P S A値	Gleasonスコア	TNM分類
C	13.99	9	T3a, N0, M0
C	14.39	6	T3a, N0, M0
C	17.79	7	T3a, N0, M0
C	64.96	不明	T3a, N0, M0
C	82.91	7	T3b, N0, M0
C	83.60	7	T3a, N0, M0
C	127	9	T3b, N0, M0
C	146	8	T3a, N0, M0
C	989	8	T3a, N0, M0
D	10.61	7	T2c, N0, M1
D	11.10	7	T2c, N0, M1
D	28.31	9	T2b, N1, M0
D	122	9	T4, N0, M0
D	134	7	T3a, N1, M0
D	1,000以上	8	T3b, N1, M1

(5) 非初回のうち進行がんであった7人の令和元年度と前回受診年度の検診及び精検結果状況

ABCD 分 類	令和元年度受診			前回受診結果		
	検診時 P S A値	Gleason スコア	TNM分類	受診 年度	検診時 P S A値	精検結果
C	4.39	9	T3a, N0, M0	H30	3.1 (異常なし)	—
C	4.43	7	T3a, N0, M0	H30	3.6 (異常なし)	—
C	5.13	9	T3a, N0, M0	H28	1.7 (異常なし)	—
C	8.54	9	T3b, N0, M0	H30	10.2	精検未受診
D	15.11	不明	T3a, N1, M0	H30	7.1	前立腺肥大症
D	22.62	7	T2a, N1, M0	H30	6.5	前立腺肥大症
D	26.11	9	T3a, N0, M1	H30	17.9	精検未受診

(6) 非初回107人の前回受診結果と精検受診の状況

	発見がん数	前回受診結果	
		異常なし	要精検（精検未受診）
早期	89	36	53 (8)
進行	7	3	4 (2)
不明	11	6	5 (1)
総数	107	45	62 (11)

4 まとめ

今回の発見前立腺がん追跡調査結果では、155人のがんが確定され、全体のがん発見率は0.57%であった。年齢別にかん発見率（図1）をみると、60歳以上から加齢とともに上昇傾向を示していた。

発見がん155人の臨床病期（ABCD分類）は、早期がんである病期B群が多く、B0が12人（7.7%）、B1が71人（45.8%）、B2が37人（23.9%）であり、全体の77.4%を占めていた（図2）。また、臨床病期TNM分類のうち原発腫瘍の深達度を分類するT分類では、がんが前立腺内にとどまっているT1c、T2a、T2b、T2cが多く、全体の135人（87.1%）であった（図3）。

組織学的悪性度の指標であるGleasonスコアでは、スコア6以下の病理組織学的に低悪性度群が27人（17.4%）、スコア7の中間群が71人（45.8%）、高悪性度群であるスコア8以上は48人（30.9%）であった（図4）。

初回受診と非初回受診別にみた実施状況では、要精検者数は初回受診群445人、非初回受診群2,039人、がん発見率は初回受診群1.17%、非初回受診群0.46%であり、非初回受診群と比較して初回受診群の方が要精検者数、がん発見率ともに有意（ $p < 0.01$ ）に高かった。臨床病期（ABCD分類）による早期がん割合の比較では、初回受診群67.4%、非初回受診群92.7%と、非初回受診群の方が高かったが有意な差は認められなかった。また、Gleasonスコアの比較では、早期がん、進行がんともに初回受診群、非初回受診群のGleasonスコア別発見割合に差は認められなかった。

非初回受診群のうち進行がんであった7人の前回受診時の検診結果は、前回検診結果が「異常なし」であった者が7人中3人認められたが、この3人のうち2人の発見がんのGleasonスコアは、病理組織学的に高悪性度群であるスコア8以上であった。このことから、要精検となった場合には、悪性度が高く進展の早いがんであることも考慮し、速やかに専門の精密検査医療機関を受診することが重要であると考えられた。さらに、非初回107人のうち前回受診結果が要精検であった者が62人で、そのうち11人が精検未受診者であったことから、要精検者への適切な精検受診勧奨が必要であると思われた。

今回発見された前立腺がんの約7割が早期がんであったが、Gleasonスコアでは、悪性度が中間群以上で積極的治療の対象となるスコア7以上が全体の約7割を占めていた。早期に発見された前立腺がんは治療法の選択肢も多く、根治の可能性があることから、定期的に前立腺がん検診を受診し、要精検となった場合には、速やかに専門の精密検査医療機関を受診し、適切な診断・治療を受けることが重要であると考えられた。